

令和元年度(2019年度) 学校法人昭和学院 事業報告書

1. 基本方針

(1) 建学の精神である「明敏謙讓」の精神と伝統を踏まえ、教育の充実向上及び経営の健全化を図り、特色ある学院の維持発展を目指しました。

(2) 教育面においては、建学の精神のもと豊かな人間性を育成し、総合学園としての特色を生かした全人教育の推進を図りました。これにより①進学実績の向上・希望する職場への就職、②クラブ活動で全国優勝、優れた成績をあげることを目指しました。③豊かな人間性を持った若者の育成を目指しました。

(3) 学生、生徒、児童、園児及び教職員の安全確保に努めました。

(4) 経営面においては、少子化の進行及び学校教育の変化等を視野に長期的な経営環境を考慮し、常に適正な収支の均衡を保つよう財政の健全化を図り、安定した経営を目指しました。事業計画を推進するうえでは、特に人件費比率の適正化のために創意工夫に努め、効率的な経費の配分と節約に努めました。

(5) 収入の確保、特に各校・園の学生、生徒、児童、園児の確保に努めました。

(6) 教職員の働き方改革を推進し、業務の積極的な改善と効率化を図り超過勤務時間の削減を実現しました。

2. 事業報告

(1) 昭和学院短期大学

1. 特記事項の概要

1940(昭和15)年に創立された本学院は、本年1月をもって創立79周年を迎え、来年(令和2年1月)には創立80周年を迎える。

創立にあたり掲げた建学の精神「明敏謙讓」は、いつの時代にあっても不易のものである。

これまでに本学院を巣立っていった卒業生は、実社会で活躍している。

今後も、本学院の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、秀英中学校、秀英高等学校、短期大学がそれぞれの特色を発揮しながらも建学の精神に基づく人間性豊かな人材の育成を推進し、昭和学院としての調和のとれた総合学園としてさらなる飛躍を期していく。

以下に令和元年度に実施した特記すべき事業を記す。

<特記事項>

(1) 昭和学院短期大学

① 教育の質と学生生活環境の向上

- ・令和元年度私立大学等改革総合支援事業「教育の質転換」で5年連続採択された。
- ・学内設備の整備
生物学実験台椅子の交換、教室の修繕、校舎の塗装、床メンテナンス、事務室拡張整備等
- ② 学生募集の強化
 - ・オープンキャンパスナビの活用
 - ・動画による短期大学紹介ビデオの作成、ナイトオープンキャンパスの実施
 - ・令和2年度入学生176名（170名の定員確保）
- ③ 就職支援とキャリア教育の推進
就職率は昨年につき、全学で100%だった。
 - ・資格教育の充実と就職
生活クリエイション専攻：TOEIC600点以上の学生が2名出た。ANA グランドスタッフはじめ空港関連、医療事務、ブライダル、ホテル等業種の範囲が広まった。
ヘルスケア栄養学科：栄養士の資格取得率98.6%、栄養士就職90%以上だった。
 - ・公務員対策講座の充実
こども発達専攻の公務員保育士の合格率は75%で、卒業生の2割が公務員保育士となった。
- ④ 収支バランスの改善
 - ・短期大学の経常収支差額の赤字が解消されて収支バランスが改善された。
- ⑤ 地域社会への貢献
 - ・市川市との包括連携協定に基づく事業の実施
 - ・地域子育て支援センター事業の実施
 - ・市川市小学生朝食選手権を市川シビックロータリークラブと共催
 - ・いちかわ市民アカデミー講座、本学公開講座、シニアのための健康栄養講座の実施
 - ・大学コンソーシアム市川
令和元年度私立大学等改革総合支援事業「プラットフォーム型地域貢献」で全体と昭和学院短期大学の両方に初めて採択された。
6つの事業中、本学教職員が3つの事業の委員長として活躍

(2) 昭和学院高等学校・昭和学院中学校

【基本方針】

1. 生徒の学力向上、進路実績の向上を図るための環境の整備
2. 生徒募集活動の充実～高い文武両道を目指す生徒の確保～
3. 分掌の再編成と校務の情報化推進
4. 安心・安全な施設の維持

【実施計画と成果】

- ① 教育の充実
 - ・創立 80 周年に向けた小中高・秀英中高の教育連携→強化の進展
 - ・2020 年度に中高全学年にiPad導入完了予定
 - ・英語力の育成
 - コミュニケーション(高校全クラス:Online Speaking Training の導入完了→良好)
 - ライティング(高 3 特進クラス:Smart Lecture Training の試験導入→良好)
 - 小中英語指導の系統化と連携→強化の進展
 - ・授業力の向上→各種研修会への参加、Find アクティブラーナー導入による研修の進展
 - ・探究学習の推進→総合学習との連携強化
 - ・高大接続 PT による新入試への対応→各種研修会への参加、研究授業の実施、ポートフォリオの活用推進
 - ・教員の資質向上→教科研究会・授業研究会の充実と発展
- ② 資質・能力の高い多様な生徒の確保
 - ・(中高)新コース編成の導入検討
 - *PT により 2020 年度入学生からの実施に向け→遅滞なく作業を進行
 - ・広報の強化→良好
- ③分掌の再編成
 - ・副校長(2 名制):中高全体を 2 名で校務の分野別担当→1 年前倒しで実施
 - ・生徒指導部への管理部組み入れ、及び中高別の部長任命(教務・生徒指導)→良好
- ④-2 校務の情報化
 - ・スコーレ(教務システム)の活用及び適切なカスタマイズの進展→良好
 - ・身分証明書の IC カード化による事務処理効率化の推進→良好
 - ・スタディサプリ(各家庭への情報配信システム)の運用開始→良好
- ⑤学校施設及び環境の整備
 - ・築 10 年以上経過した校舎、施設の点検及び保守管理の遂行
 - 南側独立柱の剥落タイル修復 及び校舎棟壁面の打診検査実施→良好
 - (含:電子黒板の保守、人工芝のメンテナンス)
 - ・体育館水銀灯の LED 化(計画の立案)→良好
 - ・チョーク黒板のホワイトボードへの全面切替(計画の立案)→良好

(3)昭和学院秀英高等学校・昭和学院秀英中学校

- ① 進学実績向上のための授業の充実と補習、講習の徹底
 - ・質の高い授業の実践
 - ・各教科研修の充実
 - ・補習、講習の徹底
 - ・中学校 英数国を中心とした基礎学力の徹底
- ② 海外研修、語学研修等の拡充
 - ・高 1 海外語学研修 (継続 3 2 回目)

第33回は中3・3月に実施し、第34回からは中3夏に移行予定であったが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

- ・高1 BOSTON・NASA研修（継続3回目）
- ・高1 英国ケント大学プログラム（継続2回目）
- ・エンパワーメントプログラム（継続3年目）

今年度より、アドバンストクラスを設け、これまでのスタンダードクラスと並行して実施。対象学年も、高1高2に加え、中3にも拡大した。

- ・中1、中2、高1 オンライン英会話（継続3年目）
- ・中2 ブリティッシュヒルズ研修（継続2年目）
- ・中1 TOKYO GLOBAL GATEWAY 研修（継続2年目）
- ・中3 英語 10月よりクラスを分割した習熟度授業試行

③ 豊かな心の人間づくり

- ・LHR（高校）、道徳（中学校）活動の充実
- ・ルール、マナー等規範意識の向上

④ 学習環境の整備と校内美化

- ・塵ひとつない環境づくり
- ・清掃の徹底

⑤ インターネット出願の充実（継続3年目）

⑥ 中学校 午後特別入試（3年目）

12月推薦入試取り止め

午後特別入試1/20 第1回1/22 第2回2/2

高等学校 後期入試取り止め これまでの前期入試に一本化1/18

⑦ ADVANCE 勤怠システム（継続2年目、手のひら静脈認証による出退勤管理、服務管理）

(4) 昭和学院小学校

1. 充実した学習活動を保障する学習環境の構築

- ・ICT化の推進

2. 新指導要領実施に向けた職員研修の充実

- ・新指導要領実施に対応する研修の充実
- ・教科教材教具の整備

3. グローバル化の推進

- ・英語教育の充実
- ・第7回オーストラリア研修の実施(2～6年)
- ・イングリッシュキャンプ（6年）
- ・留学生との交流会（5年）

- ・スピーチコンテストの実施(1～6年)
- ・シンガポール日本人学校と教員派遣協定締結
 - ・令和3年より派遣
- 4. プログラミング教育の研究・実践
 - ・プログラミング教育の充実
 - ・マインドストーム ev3、キュベットを使って見学会の実施、
 - ・幼小の連携授業
- 5. 児童募集活動
 - ・少子化が進む中で定員の確保
 - ・各幼児教室での講演会の実施
 - ・模試の会場での説明会
 - ・体験教室

(5) 昭和学院幼稚園

1. 教育活動の充実
 - ・英語学習の充実
 - ・プログラミング教育の充実
 - ・幼小連携の活動 年長児と2年生、年中児と1年生
 - ・各種行事の充実
 - ・行事の再検討
 - ・運動会、発表会、作品展等の改善
2. 教員の保育研修
 - ・新教育要領に準じた保育へ
 - ・保育の改善
3. 預かり保育・課外教室の充実
 - ・預かりアプリの有効利用(保護者とのコンタクト)
 - ・課外英語教室(卒園者用)の拡大
 - ・ダンス教室、サッカー教室、保護者対象ピラティス等
 - ・短大体育館、中高テニスコートを利用
4. 未就園クラスの拡大、充実
 - ・ひよこ、どんぐりクラブ週3日
 - ・音楽教室、ダンス教室等 週4日
 - ・短大図書館(学童の部屋)を利用
5. 園舎、園庭の整備
 - ・補助金を利用した施設・設備の充実

・防犯カメラ、園庭整備、園庭の時計

6、募集活動の充実

- ・ホームページ・入園案内のリニューアルと有効利用
- ・説明会、見学会の改善

7、その他

- ・安全管理、危機管理体制の見直し
 - ・個人情報管理、避難訓練、施設管理等、アレルギー対策等

以上

3、預かり保育・課外教室の充実

- ・預かりアプリの有効利用(保護者とのコンタクト)
- ・課外英語教室(卒園者用)の拡大
 - ・ダンス教室、サッカー教室、保護者対象ピラティス等
 - ・短大体育館、中高テニスコートを利用

4、未就園クラスの拡大、充実

- ・ひよこ、どんぐりクラブ週 3 日
- ・音楽教室、ダンス教室等 週 4 日
 - ・短大図書館(学童の部屋)を利用

5、園舎、園庭の整備

- ・補助金を利用した施設・設備の充実
 - ベランダの日よけ、プールのシャワー

6、募集活動の充実

- ・ホームページ・入園案内のリニューアルと有効利用
- ・説明会、見学会の改善

7、その他

- ・安全管理、危機管理体制の見直し
 - 個人情報管理、避難訓練、施設管理等、アレルギー対策等

(6)法人

【基本方針】

財政の健全化

教育改革・働き方改革に伴う体制の整備

時間外勤務削減への努力

教育環境の維持・改善

【特記事項】

①財政の健全化への取り組み

- ・適正教員数の検討
- ・定員に満たない部門の検証
- ・経営改善計画の遂行

②時間外勤務削減への努力

- ・業務の積極的な見直しと改善
- ・1年間の変形労働制の維持

③教育環境の維持・改善の実施と工程表の作成

- ・法令等に基づく点検、修繕(防火扉、消防設備、建物打診調査、PCB引取り)等
- ・人工芝の修理(メイングラウンド、アクティブコート、大町グラウンドテニスコート)
- ・電話交換設備更新(小学校・中高・短大)
- ・中央監視装置更新(小学校・中高・伊藤記念ホール)
- ・照明灯のLED化(全校)
- ・建築基準法点検に基づく設備改修(秀英)

④創立 80 周年記念事業への準備

以上